



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 榑田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	6,686	△20.2	351	46.9	402	71.4	160	40.7
28年6月期第2四半期	8,382	△26.8	239	△76.2	234	△78.3	114	△83.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	22.37	22.30
28年6月期第2四半期	15.92	15.87

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	20,100	14,921	74.0
28年6月期	19,196	14,973	77.7

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 14,865百万円 28年6月期 14,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△19.5	647	△24.7	659	△19.3	340	△0.3	47.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期2Q	7,265,212 株	28年6月期	7,265,212 株
29年6月期2Q	85,569 株	28年6月期	87,169 株
29年6月期2Q	7,265,212 株	28年6月期2Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、持ち直し基調が鮮明になった米国経済、英国のEU離脱問題から流動化し、景気回復ペースが鈍化している欧州経済、そして成長ペースが鈍化しつつ底堅い中国経済といった海外の経済環境の中で、全体として回復の動きに足踏みがみられる状況が続き、日米の金利政策の動向に為替相場や資源価格が反応して、不安定な状況が続きましたが、米国大統領選挙後のトランプ効果で一気に円安が進み、踊り場を脱する動きが出てきました。

このような経済環境の中、ガラス溶解装置向け白金製品、HD向けのルテニウムターゲット、及びケミカル関連の受注が減少しましたが、各種電子部品や電子デバイス、半導体の需要は底固く、スマートフォン向け製品を中心に受注が堅調に推移いたしました。また、前年第1四半期会計期間に実施したようなたな卸資産の評価減がありませんでした。その結果、当第2四半期累計期間において、売上高6,686百万円(前年同四半期比20.2%減)、売上総利益1,388百万円(前年同四半期比13.6%増)、営業利益351百万円(前年同四半期比46.9%増)、経常利益402百万円(前年同四半期比71.4%増)、四半期純利益160百万円(前年同四半期比40.7%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

ガラス溶解装置向け白金製品の受注が伸び悩み、スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注は、予算計画を上回ったものの前年同四半期における旺盛な需要に比べ減少したことから、売上高2,931百万円(前年同四半期比29.6%減)、売上総利益808百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。

[薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が堅調に推移する一方で、HD向けルテニウムターゲット並びにBAWデバイス(高周波信号を取り出すデバイス)向けターゲットの受注は、ほぼ予算計画どおりではあるものの前年同四半期に比べ減少したことから、売上高2,264百万円(前年同四半期比2.0%減)、売上総利益370百万円(前年同四半期比11.4%減)となりました。

[センサー]

半導体製造装置メーカーや台湾の半導体メーカーからの受注が堅調に推移したものの、国内や米国の半導体メーカーからの受注が鈍化し、売上高949百万円(前年同四半期比2.5%増)、売上総利益208百万円(前年同四半期比27.7%減)となりました。

[その他]

貴金属化合物の受注が持ち直しつつあるものの、使用済み電極の回収精製が伸び悩んだことに加え、触媒材料の受注が低調だったことから、売上高541百万円(前年同四半期比44.8%減)、売上総損失0百万円(前年同四半期は122百万円の売上総利益)となりました。

②海外売上

当第2四半期累計期間における輸出売上高は1,827百万円(総売上高に占める割合は27.3%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高1,334百万円(海外売上高に占める割合は73.0%)、北米向け輸出売上高436百万円(海外売上高に占める割合は23.9%)、欧州向け輸出売上高56百万円(海外売上高に占める割合は3.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は20,100百万円(前事業年度末比903百万円の増加)、負債は5,178百万円(前事業年度末比956百万円の増加)、純資産は14,921百万円(前事業年度末比52百万円の減少)となりました。

①流動資産

当第2四半期会計期間末における流動資産残高は11,179百万円となり、前事業年度末比1,059百万円増加いたしました。これは現金及び預金が320百万円、売掛金が365百万円、たな卸資産が472百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期会計期間末における固定資産残高は8,920百万円となり、前事業年度末比155百万円減少いたしました。これは有形固定資産が137百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期会計期間末における流動負債残高は2,633百万円となり、前事業年度末比646百万円増加いたしました。これは買掛金が356百万円、未払法人税等が97百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期会計期間末における固定負債残高は2,545百万円となり、前事業年度末比309百万円増加いたしました。これは長期借入金が302百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期会計期間末における純資産残高は14,921百万円となり、前事業年度末比52百万円減少いたしました。これは繰越利益剰余金が60百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、「平成28年11月8日付平成29年6月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表しております計画から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前事業年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を第1四半期会計期間の期首の利益剰余金及び評価・換算差額等に加算しております。

この結果、第1四半期会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が139百万円、利益剰余金期首残高が139百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027	1,348
受取手形	130	53
売掛金	1,776	2,141
商品及び製品	490	297
仕掛品	624	950
原材料及び貯蔵品	5,572	5,913
前払費用	60	31
繰延税金資産	140	171
関係会社短期貸付金	90	88
未収消費税等	173	159
その他	32	25
流動資産合計	10,120	11,179
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,343	2,300
構築物(純額)	45	53
機械及び装置(純額)	3,621	3,562
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	30	31
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	41	43
建設仮勘定	76	29
有形固定資産合計	7,770	7,633
無形固定資産	83	75
投資その他の資産		
投資有価証券	6	16
関係会社株式	68	59
保険積立金	31	34
長期前払費用	6	5
繰延税金資産	1,054	1,040
その他	55	54
投資その他の資産合計	1,221	1,211
固定資産合計	9,076	8,920
資産合計	19,196	20,100

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	329	685
1年内返済予定の長期借入金	960	1,030
リース債務	13	13
未払金	258	327
未払法人税等	68	165
賞与引当金	186	189
役員賞与引当金	18	—
設備関係未払金	15	25
前受金	40	70
その他	96	125
流動負債合計	1,986	2,633
固定負債		
長期借入金	1,385	1,687
リース債務	31	32
退職給付引当金	393	399
長期未払金	405	405
資産除去債務	15	16
その他	4	4
固定負債合計	2,235	2,545
負債合計	4,222	5,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	4,238	4,178
自己株式	△263	△258
株主資本合計	14,924	14,868
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
評価・換算差額等合計	△1	△0
新株予約権	51	52
純資産合計	14,973	14,921
負債純資産合計	19,196	20,100

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,382	6,686
売上原価	7,161	5,298
売上総利益	1,221	1,388
販売費及び一般管理費	982	1,036
営業利益	239	351
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	53
助成金収入	23	31
雑収入	4	4
営業外収益合計	29	90
営業外費用		
支払利息	24	13
デリバティブ評価損	—	26
為替差損	9	—
雑損失	—	0
営業外費用合計	33	39
経常利益	234	402
特別利益		
受取保険金	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	4	1
特別損失合計	4	1
税引前四半期純利益	230	402
法人税、住民税及び事業税	17	118
法人税等調整額	99	123
四半期純利益	114	160

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	230	402
減価償却費	279	251
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	24	13
為替差損益(△は益)	9	△53
デリバティブ評価損益(△は益)	—	26
売上債権の増減額(△は増加)	△76	△241
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,063	△472
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,493	426
未収消費税等の増減額(△は増加)	274	14
前受金の増減額(△は減少)	10	30
その他	1	76
小計	△1,803	472
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△22	△13
保険金の受取額	—	1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△107	△69
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,934	391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△3	—
有形固定資産の取得による支出	△306	△97
関係会社貸付金の返済による収入	—	9
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,500	—
長期借入れによる収入	800	900
長期借入金の返済による支出	△691	△527
ストックオプションの行使による収入	10	0
配当金の支払額	△358	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,260	13
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13	320
現金及び現金同等物の期首残高	1,158	1,027
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,171	1,348

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	4,166	2,309	925	981	8,382
セグメント利益	827	418	288	122	1,657

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第2四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,657
たな卸資産評価減	△435
四半期財務諸表の売上総利益	1,221

II 当第2四半期累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	2,931	2,264	949	541	6,686
セグメント利益又はセグメント損失(△)	808	370	208	△0	1,388

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第2四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致しております。